

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業評価シート					平成 29 年度事後評価・決算		所管課	生涯学習課	担当班	社会教育施設班
事務事業名		コード	40500 図書館活動費	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	☒ 主な事業
① (図書の充実) (市図書館と図書施設のネットワーク)				一般	10	4	4	☐ 国土強靱化地域計画		
施策体系	基本施策	12	生涯学習の充実	根拠法令	図書館法・旭市図書館設置条例・旭市図書館規則ほか					☐ 新市建設計画
	施策の展開	25	図書館及び関連施設の充実	戦略事業	126	図書の充実		☒ 定住自立圏構想		
	施策の展開			戦略事業	127	市図書館と図書施設のネットワークの活用		☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 38 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	乳幼児から高齢者まで、住民すべての自己教育のための情報や資料を入手し提供する事業。①図書館協議会の開催②図書館資料の貸出、返却、予約・リクエスト処理③延滞資料の督促④資料(図書・雑誌・CD等)の選書、発注、納品確認、データ登録⑤資料の移動、除籍、リサイクル処理⑥リクエスト本の他自治体への相互協力依頼⑦学校・公民館図書室への図書の配送⑧市民への資料相談⑨おはなし会等各種イベントの開催⑩読書推進のための推薦図書リストの作成(広報・ホームページ・ブックリスト)⑪研修生の受入れ⑫家庭教育での読み聞かせ指導
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
昭和38年旭市図書館設置条例公布により開館	・1市3町の合併により、対象地域が広がり、旧3町の公民館等図書室との連携を始めた。 ・平成12年度から電算システムが稼動。インターネットから本の検索や予約ができるようになった。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
(利用者から)・県立図書館より読みたい本があり、利用しやすい。・新刊本が入るのが早い。・駐車場が狭い。(住民から)・市の図書館がどこにあるのかわからない。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位	千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1. 備品購入費	7,000	図書購入	千円	7,000	7,000	6,985	7,000	7,000
2. 使用料及び賃借料	4,777	図書館情報システム機器賃借	千円	4,780	4,779	4,777	4,777	4,806
3. 賃金	3,527	図書館臨時職員賃金	千円	2,951	2,857	3,209	3,527	4,175
4. 需用費	2,861	雑誌・文庫購入、ブックスタートバック購入	千円	2,930	2,906	2,604	2,861	2,994
5. その他	1,584	報償費、通信運搬費、委託料、負担金	千円	1,448	1,214	1,459	1,584	1,812
② 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位	千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1. 国庫支出金	0	事業費計(A)	千円	19,109	18,756	19,034	19,749	20,787
2. 都道府県支出金	0	1. 国庫支出金	千円					
3. 地方債	0	2. 都道府県支出金	千円					
4. その他	0	3. 地方債	千円					
		4. その他	千円					
		5. 一般財源	千円	19,109	18,756	19,034	19,749	20,787

前年度増減理由	臨時職員の時給増、社会保険加入による賃金増 文庫購入冊数の増加
---------	------------------------------------

従事職員数 常時 2 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

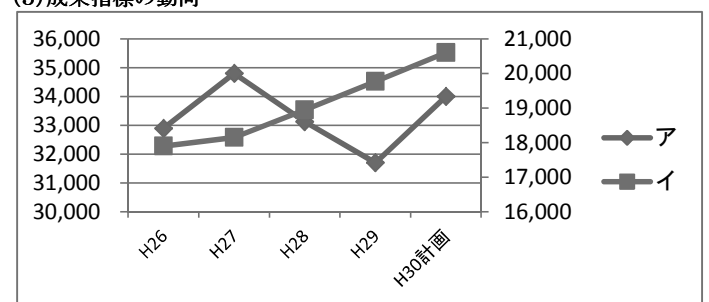
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) ・本、雑誌、CD等の貸出 ・本、雑誌、CD等の購入、整理、保存 ・資料相談 ・講座の開催、学校等支援 ・読書手帳の配布	ア 本の受入れ冊数	冊	4,276	4,162	4,094	4,894	4,100
		イ 本の貸出冊数	冊	104,033	110,026	103,957	100,507	102,000
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象 市民 意図 赤ちゃんからお年寄りまで、どの世代でも本が利用できる。 対象意図	ア 貸出人数	人	32,894	34,800	33,120	31,703	34,000
		イ あさひ図書利用カード登録者数	人	17,899	18,145	18,942	19,765	20,600

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	①	かなりある	ほとんどない
施策貢献度	普通			
施策貢献度	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価優先度	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
				(6)
評価優先度	②			
評価優先度	③			
評価優先度	④⑤			
評価優先度	⑥			
評価優先度	⑦⑧			
評価優先度	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況		☐ 完了		☐ 順調		☒ 概ね順調		☐ 停滞		☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標 のタイプ		数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	成果比較	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)		成果指標イ		数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	26年度		27年度	28年度	29年度	30計画	
	市内外小中学校の団体貸出の増加に伴い、図書館の個人利用が減少しているため。														
			ア					△2,308	1,906	△1,680	△1,417	2,297			
			イ					287	246	797	823	835			
	③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容			今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()					
	平成30年度中		利用者が気持ちよく過ごせるような図書館の環境づくりのため、チラシ配布、汚破損資料の展示を通し、図書館の利用マナー向上を図る。			今後の方向性	平成30年度中								
							ブックスタートをきっかけに来館した利用者のため、乳幼児向けの絵本の冊数を増やし蔵書の充実を図る。								